

フィリピン共和国パンガシナン県  
オルダネタ町イロカノ方言の  
比喩語について

Virgilio U. Manzano

はじめに

1. 調査対象地：オルダネタ町 (Urdaneta) はルソン島の北方、約170Kmのパンガシナン県 (Pangasinan) の中央に位置する繁華な地である。町の主な産業は農業で、専業と兼業を合わせて、50%程である。米と野菜の生産が盛んである。パンガシナン県の行政文化の中心が、オルダネタ町に集まっており、東西への交通の要所となっている。パンガシナン国立大学院も、このオルダネタ町に置かれている。人口は500,000人、宗教は殆どがキリスト教である。
2. 調査年月日時：1993年3月20日～30日
3. 話者：Virgilio U. Manzano 1954年11月7日生 (38歳)
4. 調査者・調査場所：話者自身が日本国において、自分の方言を内省して記述した。
5. 調査方法・調査時の様子：調査票に基づいて、イロカノ方言の比喩語を内省し、それを、正当な正書法で対照させた。記述に当たって、江端義夫が若干の補助を助めた。

I 自然現象 Nasantwan a Paspasamak

1. 日照り雨 Aggtudtodo ngem agininit  
todoが「雨」、initが「太陽」の意。
2. 入道雲 puraw nga ulep  
purawは「白い」、ulepは「雲」、ngaは「だ」に相当する助辞。
3. 旋風 Alipogpog  
dakkal nga Alipogpogは大旋風、bassit nga alipogpogは小旋風。
4. 霜柱 Kasla lubid nga yelo  
yeloは「氷」、Kasla lubidは「ひも」、全体で、ひものような「氷」という意。
5. つらら Natirad nga yelo  
yeloは「氷」、Natiradは「細い」の意。
6. 北斗七星 Bitwin iti amianan  
amiananは「北」、Bitwinは「星」、itiは「の」。
7. 昴 pleyades  
スペイン系の語とみられる。
8. 流れ星 Natinnang nga bitwin  
bitwinは「星」、Natinnang ngaは「落ちた」。

## II 動物 Ayup

9. かわはぎ Lames
10. ひらめ Diplak nga sida  
sidaは「魚」、Diplakは「平らな」の意。
11. ひきがえる Pilat
12. 青大将 Martin
13. とかげ Alibot
14. かまきり Managlulwalo nga kulisap  
kulisapは「昆虫」、Managlulwalohは「折り」。
15. みずすまし Barrairong ti danom  
danomは「水」、Barrairongは「かぶと虫」で、「水に住んでいるカブトムシ」の意。
16. きつつき Talakitok  
木をつつく音が「tok tok tok …」というところからの命名。
17. せきれい Maya
18. ふくろう Puwwek

## III 植物 Mulmula

19. 馬鈴薯 Buga
20. とうもろこし Mais  
これは多分、スペイン語に由来する。
21. いんげん豆 Utong
22. そら豆 Sabawil
23. 木くらげ Uong otot  
ototは「ネズミ」、Uongは「茸」の意。
24. げんのしょうこ 知らない。
25. どくだみ 知らない。
26. いたどり 知らない。
27. からすうり Balisongsong
28. すみれ 知らない。
29. 春蘭 知らない。
30. 母子草 Tapingar
31. ねむの木 Ipil

## IV 性向 Ugali

32. 熱しやすく冷めやすい人 Nalaka nga maawanan iti ganas  
「食欲がなくなる」の意。

33. あわてん坊 Napardas
34. 動作の鈍い人 Nabuntog
35. 嘘つき Naulbod
36. ほらふき Managpadakkell iti sao  
saoは「言い方」、Managpadakkellは「拡大」。
37. おしゃべり Sao nga Sao  
always speakingの意。
38. 冗談言い Nalaing nga agpakatawa  
agpakatawaは「笑うこと」、Nalaingは「上手なこと」。
39. 口先だけの人 Agengga iti sao laeng  
laengはonly、saoは「言い方」、Agenggaはuntilの意。言葉だけで誠意のないこと  
の意。
40. とんちんかんなことを言う人 Awan iti susoto nga ibagbaga na  
ibagbagaは「言っていること」、Awanは「なし」、susotoは「真実」。いつもは  
ずれることの意。
41. のらりくらり煮えきらない人 Nabuntog nga agpanpanunot  
Nabuntogは「おそい」、agpanpanunotは「考えること」の意。
42. 怒りっぽい人 Naunget
43. 気むらな人 Managbalbaliw
44. 泣き虫 Nalaka nga agsangit  
agsangitは「泣くこと」、Nalakaはeasy、mangit (泣き虫)
45. おてんば娘 Kasla lalaki  
lalakiは「男の子」、Kaslaは「～のような」。
46. 腕白坊主 Alisto nga ubing  
ubingは「子供」、Alistoはsharpとか「鋭い」の意。
47. 出しゃばり Napasikat
48. どこへでも顔を出す人 Mannakibangaw
49. 家にこもって外出しない人 Tao iti balay  
balayは「家」、Taoは「人間」の意。
50. 小心者 Natakrot
51. 内弁慶 Singpet Kiteb  
Kitebは一つの昆虫の種類、Singpetは「規律正しい」。
52. 人づきあいをしない人、社交性のない人 Managbabain
53. 妻に対して頭のあがらない男 Kabuteng na ti baket na  
baketは「妻」、Kabutengは「恐ろしい」。
54. けち Nakuripot
55. 欲張り Naapal

V 食生活 Ugali iti Pannangan

56. 大食漢 Narawet  
57. ぼたもち Inlubi  
58. 砂糖味が薄い Saan nga naasukar  
naasukarは「砂糖」、Saanは「少ない」こと。  
59. 塩味が薄い Saan nga naapgad  
naapgadは「塩辛さ」、Saanは「少ない」こと。  
60. 大酒飲み Managbartek  
61. 酒に酔ってくだをまく Nalaing ngabagsaono mabartek  
mabartekは「酔った時」、agsaonはspeaking、Nalaingは「いつも」の意。  
62. 酒に酔って顔が赤くなる、そのさま Labbaga iti arak  
arakは「酒」、Labbagaは「赤い」、itiは「の」。

VI 動作・様態 Napaspasamak

63. 恥ずかしくて顔が赤くなる、そのさま Lumabaga  
64. どしゃぶりの雨 Napigsa nga tudo  
tudoは「雨」、Napigsaは「強い」の意。  
小雨はArbis、台風はBagyoという。  
65. ずぶ濡れ・びしょ濡れになる、そのさま Mabasa  
66. 服装がだらしないさま Nakapoy nga agkawes  
agkawesは「服を使う」こと、Nakapoyは「きちんとしていない」ことの意。  
67. 髭がのび放題なさま Kabarbarbas  
68. 厚化粧をしている人 Napulak iti polbos na  
polbosは「化粧品」、Napulakは「たくさん」。  
69. 背丈の高い人 Karantiway  
70. 出びたい Namuging  
71. 汗がひたいから流れ落ちる Aglinglenget  
72. 目を丸くする Makigtot  
73. 口をとがらす Agkubibit  
74. 焦げ臭いにおい Naaksyot  
75. 遠回り(を)する Manglikaw  
76. 末っ子 Buridek  
77. 一生懸命頑張る Pasyaen  
pasyaenは名詞、pasyaemは動詞。  
Pasyaek iti agadal ti Hapon. = I work hard to learn Japanese.  
日本語の勉強を一生懸命頑張る。

まとめ

- ① 日本語の方言とイロカノ方言とで、比喩語の造語発想に類似が見られた。これは、人類共通のことか、あるいはアジア系の言語の共通点か分からないが、興味もたれた。
- ② フィリピンに存在しないもので、日本人に関心の高いものとして、花の名称（げんのしょうこ、どくだみ、いたどり、すみれ、春蘭）がある。これは、四季の移り変わりの著しさによるものと考えられる。

(バヒリオ・ユ・マンザーノ 広島大学教育学部)